

## Windows での Rancher Desktop のインストール手順

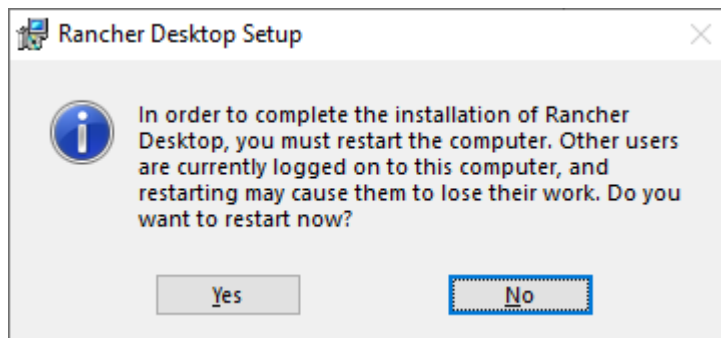
### 前提条件:

- Windows 2022 および Windows 10 build 1909 以降。最新のアップデートを適用することをお勧めします。
- Window の Virtual Machine Platform 機能が使用可能であること。 <#>
- インターネットに接続可能であること。
- 推奨される**最小**ハードウェア構成:

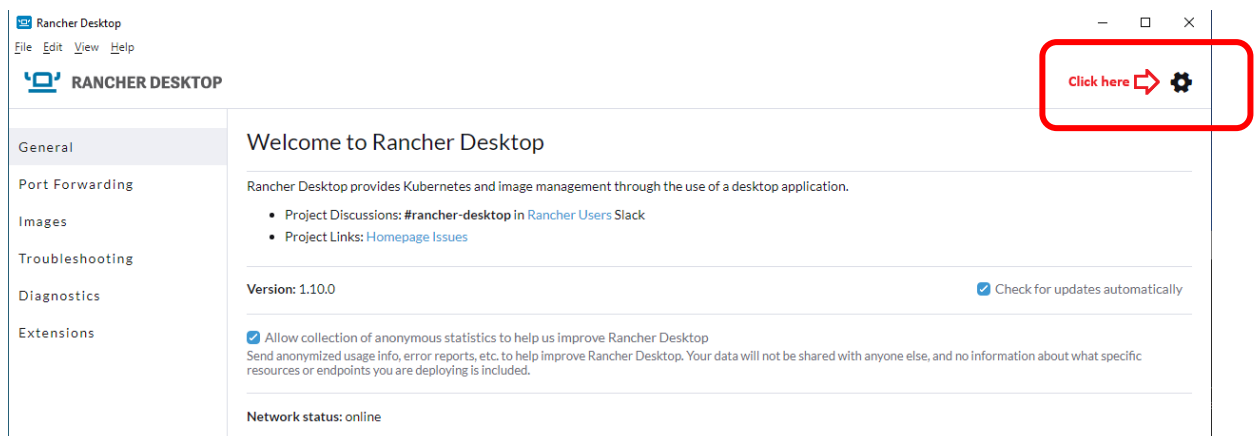
IMM と xpi servers		
CPU @ 2.66Ghz 以上		8 Core
メモリサイズ(GB)		32 GB
空きディスク容量		25 GB

- Rancher Desktop のダウンロード
  - [RancherDesktop.io](https://rancherdesktop.io) サイトにアクセスします。
  - "Download Windows" リンクを探し、インストーラーをダウンロードします。
  - Rancher Desktop の特定のバージョン/ビルドをダウンロードする必要がある場合は [GitHub site of the project](#) にアクセスしてください。
- インストール手順
  - インストーラーを実行すると、Rancher Desktop は Window の [WSL2](#) 上で実行されます。  
== RancherDesktop のインストーラーは WSL2 を自動的にインストールしようとしてします。  
== したがってインストーラー実行時、WSL2 をインストールする権限が必要です。

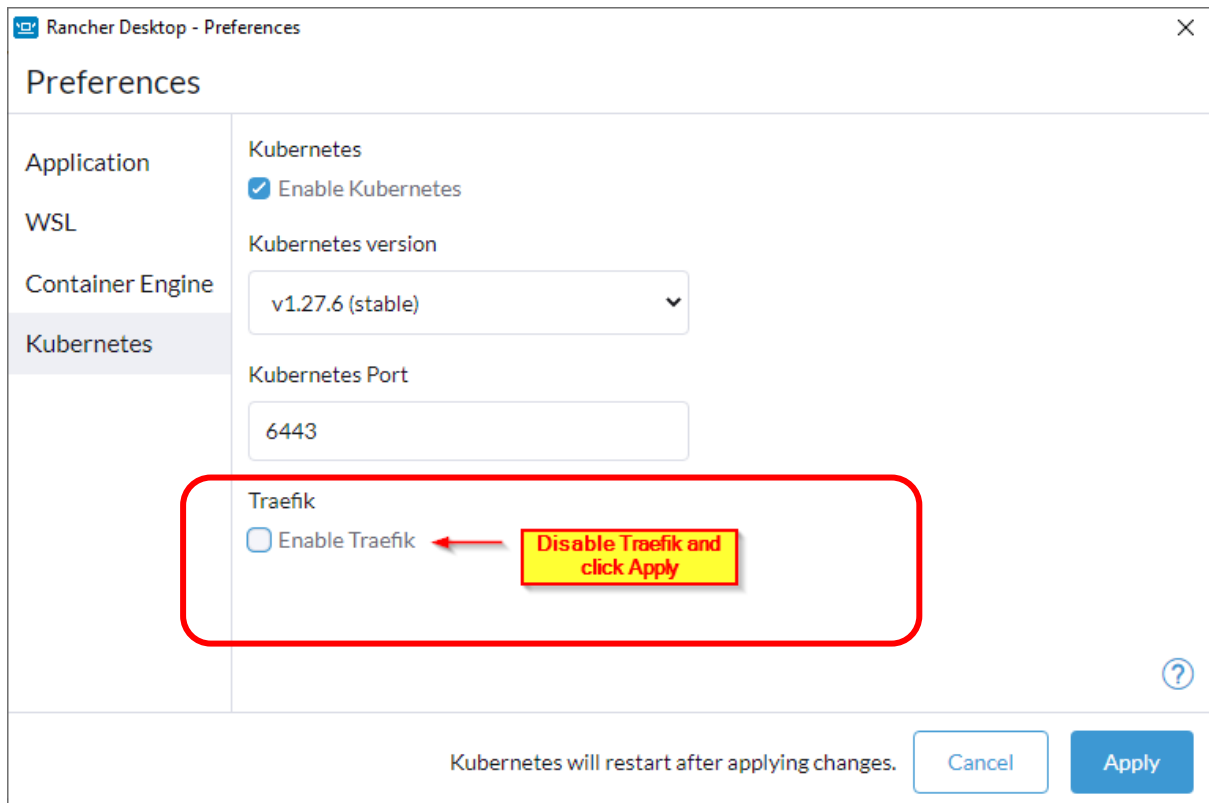
- インストールレベルのエラーやその他の問題については、「トラブルシューティング」セクションを参照してください。
- インストーラーは、構成を行うための値の入力を求めるプロンプトを表示せず、インストール手順を開始する前に「使用許諾契約への同意」を求めるプロンプトのみを表示します。
- プロセスの最後に、インストーラーはシステムの再起動を求めます (WSL がまだインストールされていない場合、またはインストーラーの再実行の場合はスキップできます)。「はい(Yes)」を選択して再起動します。



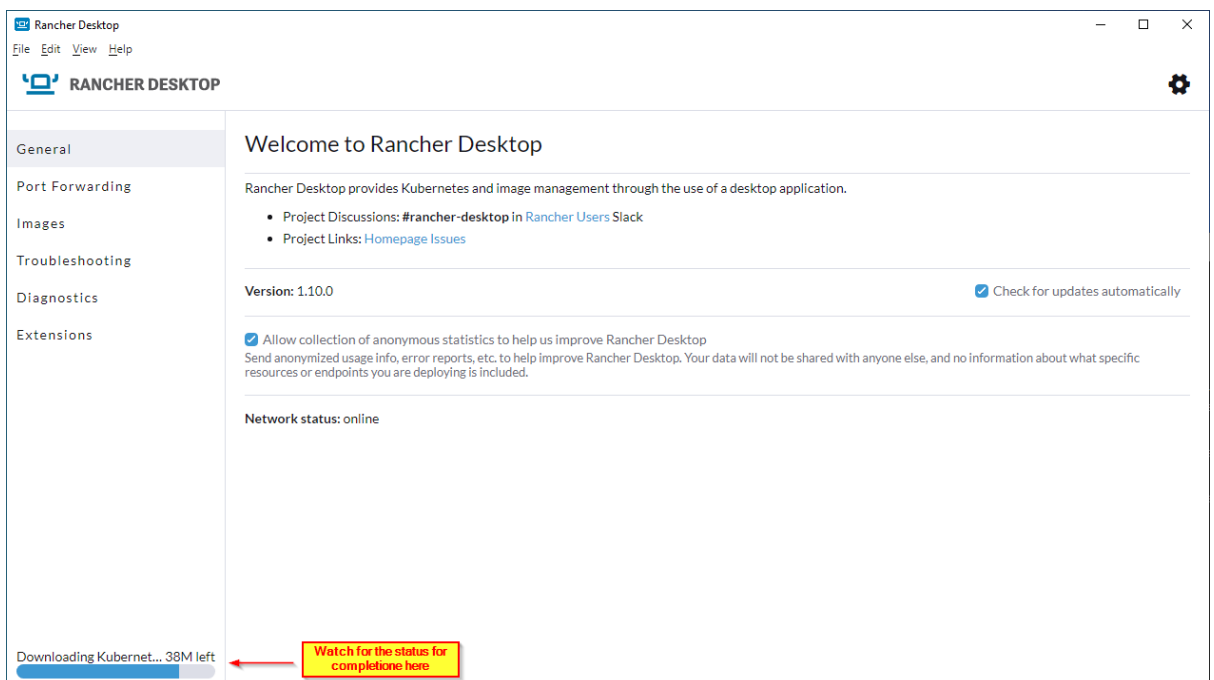
- サーバーの再起動後、管理者権限でコマンド シェル ウィンドウを開き (管理者として実行)、コマンド : `wsl --update` を実行します。
  - コマンドが失敗した場合は、後述トラブルシューティング セクションを参照してください。
- Open RancherDesktop を開き、右上隅にある歯車アイコンをクリックして「Preferences(設定)」を開きます。



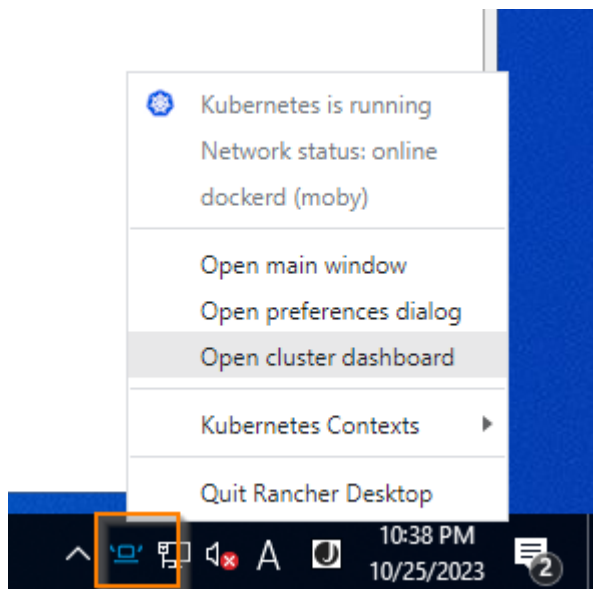
- 「Enable Traefik」のチェックボックスを解除し、「Apply」をクリックします。これにより Kubernetes が再起動します。



- プロセスの完了は、左下隅の進行状況バーで確認できます。プロセスが完了しても、進行状況バーは表示されません。 - プロセスが長時間 (15 分以上) 停止している場合は、Rancher Desktop を終了し、トラブルシューティング プロセスを試してください。



- これで Rancher Desktop のインストールは完了です。Rancher デスクトップを閉じることができ、システム トレイ メニューからウィンドウに再びアクセスできるようになります。下図参照:



- Rancher Desktop インストールの検証:  
Rancher Desktop のインストールを検証するには、Cmd Shell ウィンドウを開き、コマンド「`kubectl get svc`」を実行します。  
以下のようなポッドのリストが表示されます。:

NAME	TYPE	CLUSTER-IP	EXTERNAL-IP	PORT(S)	AGE
kubernetes	ClusterIP	10.43.0.1	<none>	443/TCP	59m

- Rancher Desktop は Kubernetes サーバーとして準備ができてはおりません。
- Magic xpi をインストールし、インストール中にドメイン名を定義します。仮想マシンとしてインストールするので、ドメイン名は任意のものを選択できます。
- xpi インストール フォルダからの deploy スクリプトを使用して IMM を deploy できます。例: C:¥Magic xpi 4.14¥InMemoryMiddleware¥deploy¥deploy-imm.bat  
詳細は「アドバンスド デプロイ ガイド」を参照ください。

※Rancher Desktop での IMM デプロイについての注意事項を参照ください。

## トラブルシューティング:

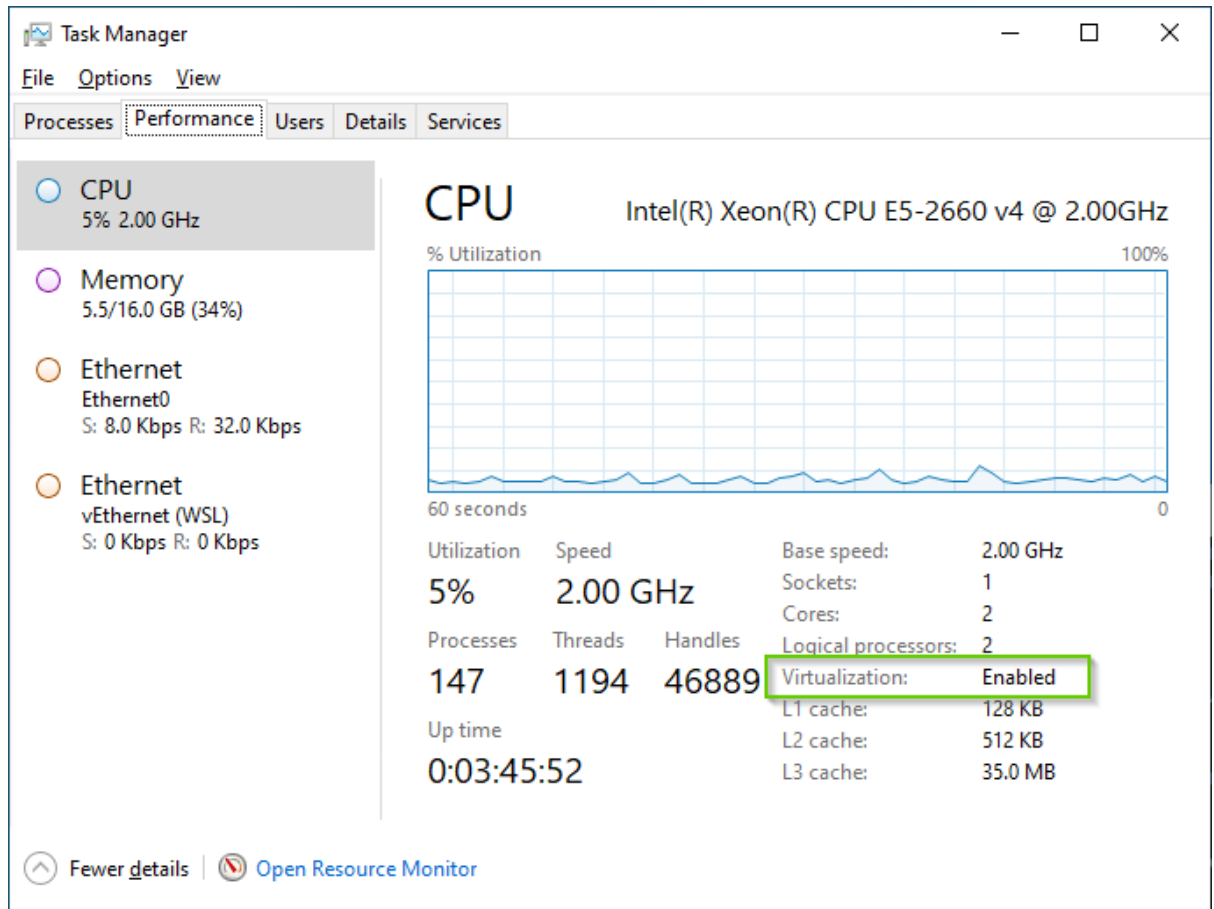
- CPU 仮想化は BIOS レベルで有効にする必要があります。通常、次の場合を除き、常に有効になります。:

ESXi/VmWare などの仮想化プラットフォームで OS を実行している場合は、仮想化が有効になっていることを確認してください。

たとえば、Vsphere では、プロパティは次のようになります。:

CPU	
Cores per Socket	2 Sockets: 1
CPU Hot Plug	<input type="checkbox"/> Enable CPU Hot Add
Reservation	0 MHz
Limit	Unlimited MHz
Shares	Normal 2000
Hardware virtualization	<input checked="" type="checkbox"/> Expose hardware assisted virtualization to the guest OS
Performance Counters	<input type="checkbox"/> Enable virtualized CPU performance counters

タスク マネージャーを使用すると、設定を簡単に確認できます。タスク マネージャーのパフォーマンス タブを参照してください。



- Windows で Hyper-V が有効になっているかどうかを確認する

Powershell を管理者として実行します。

以下のコマンドを実行します:

```
Get-WindowsOptionalFeature -Online -FeatureName Microsoft-Hyper-V
```

以下の結果が得られるはずで:

FeatureName : Microsoft-Hyper-V

DisplayName : Hyper-V P プラットフォーム

Description : 仮想マシンとそのリソースの作成および管理に使用できるサービスを提供します。

RestartRequired : Possible

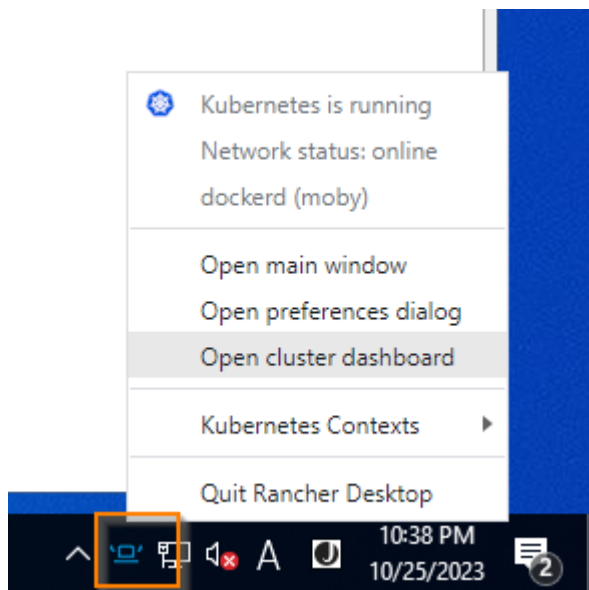
**State : Enabled**

[State] が [Enabled] となっていることを確認してください。

- WSL2 が最新バージョンに設定されていないと、予期しないエラーが発生する場合があります。

管理者として `wsl --update` コマンドを実行し、その後 Rancher Desktop を再インストールすると、多くの問題を解決できます。Rancher Desktop のインストール後にコマンドを実行することが常にベスト プラクティスです。

- Windows のバージョンが更新されていることを確認します。古いバージョンの Windows Update では、上記のコマンドから最新の WSL が常にダウンロードされるとは限りません。
- すでに他の Kubernetes を実行している場合は、システム メニューのメニュー エントリ「Kubernetes contexts」を使用して Rancher デスクトップに切り替える必要があります。



- 稀なケースとして以下に示すような「Certificate Validation Error」が発生することがあります。このような場合は、現在の Rancher Desktop をアンインストールし、[こちら](#)から製品の古いバージョンをインストールし、その上に最新バージョンをインストールしてアップグレードする必要があります。問題の詳細は[こちら](#)をご覧ください
- 注: Rancher Desktop を実行するための依存関係レイヤーである WSL は、AWS EC2 Windows マシンではサポートされていません。



- OSが最新のものにアップデートされていることを確認してください。405 という非常に古いビルドは 1909 以降に更新する必要があります。この例では 2031 です。詳細については、[こちら](#)を参照してください。常に最新のものを使用することをお勧めします。



TO



## ※ Rancher Desktop での IMM デプロイについての注意事項

Rancher Desktop 使用時、IMM をデプロイする際、以下の作業を実行します。

1. <インストール先>%InMemoryMiddleware%deploy%deploy-imm.bat をエディタで開きます。

2. 以下の 2 か所を削除します。

(1) 41-52 行目

```
41 IF [%k8sPlatform%]==[microk8s] (
42 >     echo %C_info%System identified as using "Microk8s"
43 >     kubectl get pods -n metallb-system | findstr /n "Running" | findstr "^3:" >nul || (
44 >         >     echo %C_err%: MetallB Load Balancer for Kubernetes is not enabled - this is required
45 >         >     echo
46 >         >     echo Run the following command to check:
47 >         >     echo > kubectl get pods -n metallb-system
48 >         >     echo. & echo
49 >         >     goto :exLoop
50 >     )
51 )
52
```

(2) 139 行目

```
139 IF [%k8sPlatform%]==[AKS] kubectl delete validatingwebhookconfigurations xpi-ingress-controller-ingress-nginx-admission
```

3. これら二か所を削除後、「deploy-imm.bat」を実行します。

<文書の終わり>